

鋳物業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	休業明けの炉床及び炉側面のノロ・地金除去作業中、出鋼口付近のノロ・地金を除去するため、破碎機で除去しようとしたが硬すぎるため、クレーンを使用し除去しようとフックを左足で踏みつけクレーンを巻き上げたとき、フックが外れ飛ばされた。	27	50~99
3	16~17	仕上工場内で終始部品仕上作業中に、隣で仕上作業をしていた人が天上クレーンで未仕上製品を吊り上げ運ぶ際、操作を誤り振り子のようになった部品が飛んできて、作業中の製品との間に左手小指の先を挟まれケガをした。	29	10~29
4	21~22	鋳物工場において、ベルトコンベアに乗っている鋳物製品を拾い上げる作業中、隣の製品がベルトコンベアの振動により転がり、左手人差し指に当たった。	52	50~99
6	23~24	製品（約44kg）加工の完了後、治具から外し、吊り上げ治具をセットし吊り上げようとクレーンを上昇させた際に、吊りフックが外れて顔に飛来し、裂傷を負った。	37	50~99
9	11~12	工場内検査場所にて作業中、後方に3歩ほど下がった所に、フォークリフトが走行していて接触し転倒。右足小指を骨折した。	68	10~29
9	16~17	鋳造第3工場内にてフォークリフトが停止している時、被災者がフォークリフトの側に来て、運転手がフォークリフトを前進させた際、フォークリフトの右後輪が被災者の右足踵に当たり、負傷した。	52	100~299
		ドラム工場仕上げ作業場において、けんすいによるバリとり作業中、同じ構内で従		10

10	8~9	事している別会社の工員が、フォークリフトでローラーコンベア上のパレットを取ろうと回転した際に、被災労働者の左後方から激突し、右足を巻き込んだまま数十センチ引きずった。	39	~	29
----	-----	---	----	---	----

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)